

広報

さよう

9

Vol.252
令和8年(2026)

人と地域 行政をつなぐ まちの総合情報誌

Sayo Town Public Relations

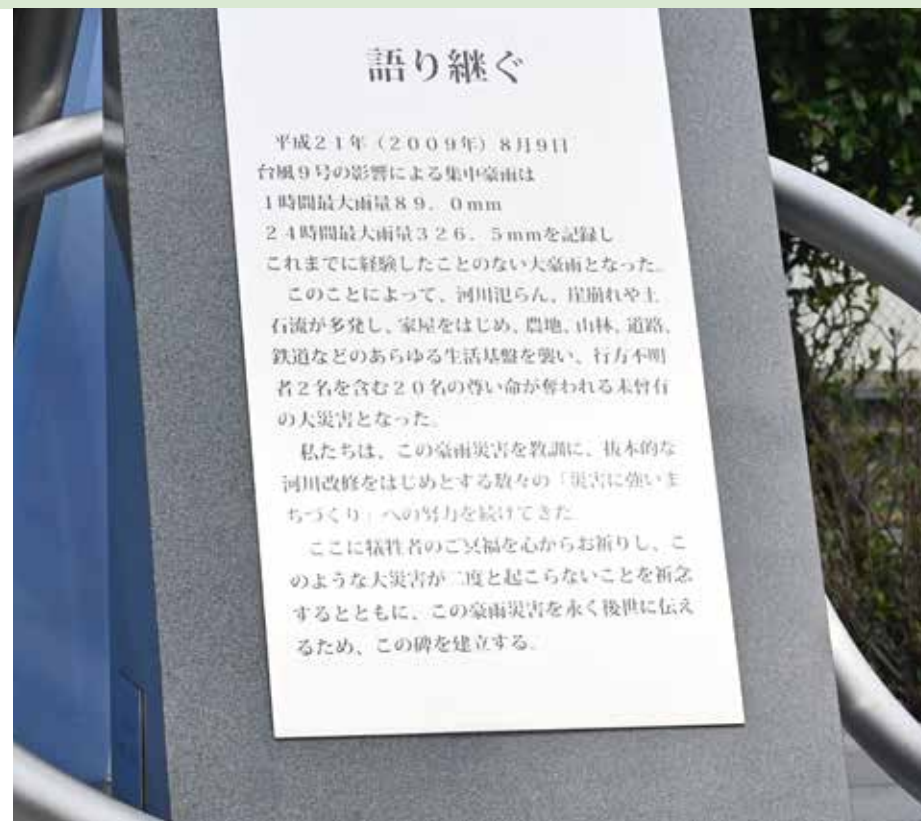
やさしい手ほどき

「今しかできないこと」そんな体験がたくさんできる夏休み。町は子どもたちが1つでも多くの体験を積み、将来に生かせるように「夏のさよう子ども体験くらぶ」を開催しています。「三日月陶芸教室「これであなとも陶芸家！」」では、熟練の技を教えてもらい、陶器を制作しました。
(関連 4 ページ)



豪雨災害を後世に語り継ぐ

平成21年8月9日、佐用町を襲った記録的な大雨で、多くの尊い命が失われました。時が経つのは早く、災害を経験した人が少しずつ少なくなり、当時を知らない世代が増えていきます。あの日、何が起き、何を学んだのか。過去の経験と教訓を次の世代へつなぎ、豪雨災害を後世に伝える取り組みが続いています。



約70人が献花を行った「語り継ぐ」の文字が刻まれた復興モニュメント

増えていく災害を知らない世代

平成21年8月9日、台風第9号の影響による記録的な大雨が佐用町を襲いました。多くの尊い命が失われ、河川の氾らんや土砂崩れによって、家屋や道路、農地などに甚大な被害が発生したあの日から、17年が経ちます。

町は毎年8月9日に、久崎復興ひろばに献花台を設置しています。今年も遺族ら約70人が花をさげました。集まった参列者を前に江見秀樹町長は「災害での大きな犠牲のもとに得ら



献花する(左から)大森教育長、江見町長、森下副町長



行燈の灯りを眺める参加者(上月行燈祭)

未来の命のために語り継ぐ

れた教訓を、決して風化させることなく、後世に継承していく」と、あいさつしました。

また、皆田和紙保存会が同日に「上月行燈祭」を上月歴史資料館前で開催し、多くの参加者が行燈の灯りに思いをはせました。

「災害復興計画検討委員会」で委員長を務めた、室崎益輝さんが、7月22日と23日に災害後の復興状況などを確認するために「災害巡回検証」を実施。大

きな被害を受けた久崎地区や平福地区などを巡り、当時の様子を振り返りながら復興の軌跡を確認しました。

当時久崎自治会長で検証会に参加した、三宅賢三さんは「久崎で人身被害がなかったのは、過去の災害の教訓を語り継いできたことが大きい」と伝えることの意味を語ります。また、「災害後の復興には近所同士の助け合いがとても大事になる」と、自助や共助の大切さを語りました。



参加者に説明する室崎益輝さん(写真右)



被災から復興までの軌跡を語る三宅賢三さん(写真左)



若手職員を中心に災害発生を仮定した災害対応訓練

経験を次世代へつなぎ、災害時に適切な判断と行動ができる職員を育てることも、教訓を未来につなぐ取り組みの一つです。しかし、災害を経験した人は少しずつ減り、災害を知らない世代が増えていきます。

だからこそ、あの日何が起こったのか。そこから何を学んだのか。一人ひとりが記憶を受け継ぎ、未来の命を守るために、次の世代へと教訓を語り継いでいくことが大切です。

令和8年熊本地震兵庫県義援金募集

町と町社会福祉協議会は、令和8年熊本地震兵庫県義援金の募集を行っています。皆様の温かいご協力をお願いします。

●募集期間 10月20日㊥まで

●義援金箱設置場所 佐用町役場本庁、上月支所、南光支所、三日月支所、三河出張所、笹ヶ丘荘、子育て支援センター、西はりま

天文台、上月体育館、町民プール、さよう文化情報センター、佐用町社会福祉協議会本所及びきらめきケアセンター佐用

●注意事項 寄付金控除を受けられる場合は、日本赤十字社口座へ直接銀行振り込みをお願いします。

企画防災課
町社会福祉協議会

☎82-0664
☎78-1212

夏のおもいで 2026



8



7



1



10



9



3



2



5



4



13



12



11



6



15



14

●佐用の夏祭り

①～⑥約5万人が訪れた南光ひまわり祭り。ひまわり迷路やしやぼん玉パフォーマンス、フォトスポットとして設置されたDO SAYOの前では、多くの人の笑顔が咲きました。

⑦南光園が開催した「南光園夏祭り」で音頭にあわせて盆踊りを踊る参加者

⑧平福納涼大会実行委員会が開催した「平福納涼大会」の打ち上げ花火

⑨町商工会などが開催した「佐用ふるさと納涼夏まつり」で人気曲にあわせて踊る、町商工会青年部と有志の子供たち

⑩久崎地域づくり協議会が開催した「高瀬舟まつり」で行われたカラオケ大会

●夏のさよう子ども体験くらぶ

子どもたちの夏休みが実りある学びの場となるよう「夏のさよう子ども体験くらぶ」を開催しました。

⑪親子クッキング教室

⑫木製のおもちゃを作ってみよう

⑬光のふしぎを体験！

科学工作ワークショップ

⑭プログラミング教室

⑮千種川チチコつり 船越大会！

地域とともにつくる、特色ある給食づくりが高く評価
町給食センターが文部科学大臣表彰を受賞

町学校給食センターは、安全・安心な学校給食の提供を基本に、衛生管理の徹底、地場産物を活用した献立や食育の推進など、特色ある給食づくりに努めてきました。これらの活動が高く評価され、「学校給食優良共同調理場」として表彰されました。



受賞を喜ぶ佐用町学校給食センターの職員

7月28日、熊本県で開催された「第3回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会」で、町学校給食センターが「学校給食優良共同調理場」として文部科学大臣表彰を受賞しました。

町学校給食センターは、衛生管理を徹底し、施設や設備の改善、食品ロスの削減など、安全で質の高い給食づくりを進めています。

また、地域の食文化を子どもたちへ伝えるなど、食育にも力を入れています。地元農家や佐用高校と連携し、佐用産の食材を使った郷土料理を献立に取り入れるほか、栄養

教諭による給食時間の指導や授業、レシピコンテストなどを実施。小学校の国語の授業「すがたをかえる大豆」と給食を関連付けた学習など、毎日の給食を学びにつなげ、子どもたちの食への興味・関心を高めています。

こうした学校給食を「生きた教材」とした食育の実践や、学校・家庭・地域・行政が連携した継続的な活動が高く評価され、今回の受賞となりました。

これからは学校給食を通して、子どもたちの望ましい食習慣と、食や地域を大切にすることを育んでいきます。

Pick up 健康福祉課 田淵栄養士がラオスで栄養改善活動

公益社団法人日本栄養士会がラオスで実施する「ラオ日栄養改善プロジェクト」の一環として、健康福祉課の田淵日和栄養士がラオスへ派遣されました。

田淵さんは現地のヘルスセンター職員らが行う離乳食教室の支援を行いました。限られた環境の中で知恵を出し合い工夫を重ね取り組む中、現地の人々が相手基準で前向きに議論を交わす姿に深く感銘を受けたといいます。「現地の方々の姿勢から多くの大切なことを教わりました」と振り返り、「この経験を今後の仕事に生かしたい」と目を輝かせました。



支援したラオスの人たち

認知症になっても自分らしく生きるために
「新しい認知症観」で考える

誰もが認知症になる可能性があります。認知症になっても自分らしく暮らせる地域づくりを目指し、認知症への向き合い方を考えてみませんか。

知ってますか「新しい認知症観」

「支える側」と「支えられる側」

認知症になると「何もできなくなる」ではありません。新しい認知症観とは、認知症になっても「できること」「やりたいこと」があり、希望を持って自分らしく暮らすことができるという考え方です。

町内で訪問看護事業を行う株式会社T.R.E.O.の山中亮二さんは「認知症の人を支えないといけない」と決めつけが大切だと話します。認知症の人も、自分の意思で人と関わる、地域で暮らす一人の住民です。

一人ひとりが認知症を「自分ごと」として捉え、どうすれば自分らしい暮らしを続けられるのかを考えることが大切です。

「支える側」と「支えられる側」に分けずに、本人の思いや希望を聴き、意思を尊重することが求められます。



好きな編み物をする様子

高齢化が進み、認知症は身近なものになっていきます。認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らすために、認知症を正しく知り、ともに地域で暮らす意識を持つことが必要です。

認知症を知ることから始めましょう

オレンジカフェ

認知症の理解を深めることを目的にレクリエーションやお茶を飲みながら交流できる憩いの場所です。

町内在住の人とはどなたでも気軽に参加できます。



オレンジカフェの様子



◀詳しくはこちらから

認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を見守る認知症サポーターになるための講座です。

職場やグループなど10人前後から受講申込ができます。



◀詳しくはこちらから

認知症で悩んでいませんか？

認知症家族の会ひまわり

認知症に関わる情報交換や、専門職に悩みごとの相談もできます。

認知症の人、または認知症と思われる人とその家族がつながる場です。

もの忘れ健康相談

気になる症状がある場合に無料で専門医に相談できます。

見守り・SOSネットワーク

認知症により道に迷う可能性のある人を事前登録することで、早期発見につなげるしくみです。

認知症初期集中支援チーム

複数の専門職が訪問し、医療・介護へのつなぎや、家族支援を集中的に行います。



◀詳しくはこちらから「さよう生活べんり帳」

☎高年介護課 ☎82-2079

8/21 旧校舎に響く子どもの声

旧海内小学校で海内子供キャンプを開催



飯ごう炊飯の火加減を調整する子どもたち

海内地区を中心に、里山保全活動などを行う「海内山歌^{みうちさんか}」は、若者グループ活動応援補助金を活用し、旧海内小学校で「海内子供キャンプ」を開催しました。

町内外から 34 人の親子が参加し、川遊びや木工体験を行いました。旧海内小学校の校庭が久しぶりに子どもの笑い声であふれました。

8/23 佐用町出身の演奏家が共演

フルート ピアノコンサート
Flute&Piano CONCERT



フルート奏者の春名さん（右）とピアニストの布埜さん（左）

佐用町出身のフルート奏者の春名優花さんと、ピアニストの布埜菜々子さんがスピカホールでコンサートを開催しました。

会場に柔らかな音色が響き、約 200 人が演奏に耳を傾けました。ふたりは「感謝の思いを込めたコンサートを開く夢がかなった。これからも音楽のすばらしさを伝えたい」と、話しました。

8/6 明るいまち佐用をつくる

犯罪のない明るいまちづくり町民のつどい



特殊詐欺防止啓発の講演を行う、たつの警察署の藤原さん

町地域安全推進協議会が「第 76 回犯罪のない明るいまちづくり町民のつどい」をさよう文化情報センターで開催しました。

特殊詐欺防止啓発の講演を行った、たつの警察署生活安全課長の藤原道信さんは「詐欺にあわないために、怪しいと思った電話はすぐに切ること」と、被害撲滅を訴えました。

8/22 角を取るのが勝利のコツ

第 14 回子ども会オセロ大会



真剣なまなざしでオセロに向き合う小学生

町子ども会連絡協議会が、子どもの思考力、判断力の向上を目的に「第 14 回子ども会オセロ大会」を上月地域交流センターで開催しました。

小学生 23 人が参加し、見事高学年の部で優勝した廣畑祐希さん（三日月小）は「練習の成果を発揮することができ、優勝できてうれしいです」と、目を輝かせていました。

8/2 リズムに乗って笑顔で交流

手をつなぐ育成会がリズムたいそうを開催



音楽にあわせて楽しい雰囲気体操をする参加者

知的障がい者の啓発活動などを行う町手をつなぐ育成会は、盛岡麻里子さん（栄町）を講師に招き、4 度目となる「リズムたいそう」を南光文化センターで開催しました。

育成会の活性化と親同士の交流を目的に、25 人が参加し、音楽に合わせて、暑さを忘れていきいきと汗を流しました。

8/4 この自転車がお気に入り

三方里山公園に新たな自転車が仲間入り



新しい自転車に乗り笑顔の三日月保育園の年長児たち

町は公益財団法人ライフスポーツ財団の子ども活動支援金を活用し、三方里山公園に新しいおもしろ自転車を 4 台導入しました。

お披露目会に参加した三日月保育園の年長児たちは、新しいピカピカの自転車で公園内を駆け巡り、「もう一度乗る」、「この自転車速い」といった声が飛び交い楽しんでいました。

7/31 放水始め！気分は消防士

佐用消防署 夏休み体験スクール



ジェットシューターという消火器を背負い放水する参加者

佐用消防署は、消火訓練や救助訓練などの体験を通じて、防災・防火の知識を学んでもらおうと、小学生を対象とした「1 日消防士体験スクール」を同署で開催しました。

参加した留田龍ノ輔さん（上長尾）は「救助訓練で煙の中が怖かった。消防士はすごいと思った」と、消防士の勇敢さを実感していました。

8/2 佐用町アンバサダーに就任

ヴィクトリーナ姫路の二宮みずき選手



二宮選手との撮影に笑顔を見せる少女バレーの子どもたち

播磨圏域連携中枢都市圏事業の一環として、町の魅力を発信してもらうアンバサダーにプロバレーボールチーム「ヴィクトリーナ姫路」で活躍する、二宮みずき選手が就任しました。

二宮選手は「佐用町の素晴らしい魅力を多くの人に届けられるよう頑張ります」と、決意しました。



元気なうちの備えが自立した暮らしの支えになります

令和8年度健康づくりセミナー開催

monthly information



いつまでも住み慣れたところで自立した暮らしを続けるためには、元気なうちの備えが必要です。このたび、昨年度の健康づくりセミナーのアンケートで希望の多かった分野を中心に、専門の医師による講演会を開催します。ぜひご参加ください。

月 日	内 容	講 師	会 場
10月27日㊤	「生涯現役には骨が大切！」 ～骨粗しょう症の予防と最近の治療～	佐用共立病院 坂本 龍之介 医師	佐用町役場 2 階 防災会議室
11月25日㊤	「腎臓を守る生活」 ～糖尿病のマネジメントは大きなカギです～	赤穂市民病院 高原 典子 副院長	南光文化 センター
12月9日㊤	「パーキンソン病ってどんな病気？」(仮)	リハビリテーション西播 磨病院 水田英二院長 ほか	佐用町役場 2 階 防災会議室
1月19日㊤	「在宅医療、緩和医療と終末期医療(看取り方)」 ～この町で目分らしく暮らすために知っておきたいこと～	姫路医療センター 吉村 純彦 医師	佐用町役場 2 階 防災会議室
2月19日㊤	「がん」になる前に考えること「がん」になっ てから考えること 伝授いたします	はりま姫路総合医療セ ンター 木下 芳一 院長	佐用町役場 2 階 防災会議室

●時間 各回午後2時～3時30分

●定員 各回30人程度

●申込み

健康福祉課の窓口、電話、ファクス(82-0144)、上部二次元コードから

問健康福祉課 ☎82-0661



今からできる！未来につながる！生活習慣病と健康長寿

地域生活支援を考えるセミナー開催

monthly information



生活習慣病の症状や原因などを知るとともに、運動や食事・栄養面から生活習慣病にならない予防法や健康長寿について一緒に考えてみませんか。

●日 時
9月25日㊤ 午後1時30分～4時

●場 所
西播磨総合リハビリテーションセンター
研修交流センター 1階交流ホール

●参加費
無料

●定員
60人(先着)

●申込方法
電話
参加申込書をファクス
上部二次元コードから
ファクス 0791-58-1071

問西播磨総合リハビリテーションセンター
☎0791-58-1050



すべての子どもに育ちの場を

「こども誰でも通園制度」が利用できます

monthly information



こども誰でも通園制度は、全ての子どもの育ちを応援することなどを目的とした新たな通園制度です。保育所などに通っていない子どもを対象に、保護者の就労要件を問わず、保育施設を一時的に利用できます。利用するには、事前に認定申請が必要です。

●対象となる子ども

利用日時点で0歳6ヶ月～満3歳未満

●利用可能時間

月～金曜日の午前8時～11時
※祝日、12月29日～1月3日を除く
子ども1人あたり月10時間まで

●利用料

子ども1人につき1時間あたり300円

●利用可能場所

各町立保育園

●申請方法

「乳児等支援給付認定申請書」を健康福祉課へ提出してください

問健康福祉課 ☎82-0661



手話を学んで広がるコミュニケーション

「はじめての手話講座」を開催します

monthly information



耳の聞こえない人が周りにいると意識したことはありますか？手話を見たことがありますか？手話に興味があったけれど、機会がなかった人はどうぞご参加ください。

●日 時 10月4日㊤ 午前10時～正午

●場 所 さよう文化情報センター

●参加費 無料

●定 員 20人(先着)

●申込方法 県立聴覚障害者情報センター
ホームページよりお申込みください

●講座内容 手話の練習 など



◀申込みはこちら

問健康福祉課 ☎82-0661

Pick up

カンボジアの子どもたちに日本の文化を伝える

独立行政法人国際協力機構(ジャイカ)の海外協力隊員として、山根慈香さん(本位田甲)が、「佐用マリア幼稚園」での勤務経験を生かし、幼児教育の向上のため令和10年8月までカンボジアへ派遣されます。

山根さんは「カンボジアの幼稚園児は机に向かってずっと勉強をしている。折り紙などを使い、遊びの中で日本の文化を教えたい」と意気込みを語りました。



意気込みを語る山根さん(写真左)



クラウドファンディングを募集

救急車型ドクターカーを更新します

monthly information



県立はりま姫路総合医療センターでは、老朽化した現在のドクターカーを、患者搬送や高度な救命処置が可能な最新の「救急車型ドクターカー」へ更新するため、クラウドファンディングに挑戦しています。

●募集期間

10月30日(金) 午後11時まで

●目標金額

2,000万円

※寄付をすると、税制上の優遇措置が受けられます。

※目標金額に到達しなかった場合は、いただいた寄付は返金します。

●申込方法

上部二次元コードから



問 県立はりま姫路総合医療センター
☎079-289-5080



この秋、素敵な出会いを見つけませんか？

商工会婚活イベント”秋恋活”

monthly information



町商工会青年部による婚活イベントを開催します。姫路駅近くの隠れ家レストランバーで、落ち着いた雰囲気の中、素敵な出会いを探してみませんか。食事やミニゲームをしながら会話を楽しめます。

●日時

10月24日(土) 午後5時～7時

●場所

ストローハット（姫路市立町61）

●参加費

男性 3,000円 女性 2,000円

●申込期間

10月5日(日) 午後5時まで

●申込期間

二次元コードから申込みください。
※応募多数の場合は抽選となります。



◀申込みはこちら



問 佐用町商工会 ☎82-2218

西はりま 天文台だより



夏の大三角形のベガ、アルタイル、デネブ

第64回

降下する鷲、飛び立つ鷲

9月、夜8時ごろ頭上を眺めると夏の大三角形があります。大三角形を作る星のうちのひとつ、こと座の「ベガ」の名はアラビア語で「降下する鷲」、わし座のアルタイルは「飛び立つ鷲」という意味があります。今は琴に描かれる星々は、昔は鷲に描かれていて、2羽の鷲としてセットの星座だったのです。

世界各地に伝わる星座が、今の88星座に決められたのは1922年です。星の名前で昔の人たちが眺めた星の歴史を残しているものがあります。

兵庫県立大学 西はりま天文台
天文科学専門員 竹内裕美

第32回

観月の夕べ

9/25 (金)

さよう文化情報センター

入場無料

お茶席 午後5時30分～7時20分

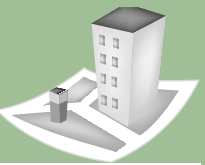
料金 1席300円(売り切れ次第終了)

芸能鑑賞 午後6時～

短歌・俳句朗読 午後6時50分～

天体観測 午後7時ごろ～

問 生涯学習課 ☎82-3336



積み重ねた努力でつかんだ「挑戦の舞台」

佐用の誇りを胸に、 全国で羽ばたく

地道な練習、悔しさ、仲間の声援。そのすべてが背中を押し、全国への道につながりました。佐用の誇りを胸に、全国の舞台へ挑んだ人たちを紹介します。



太極拳

佐用太極拳協会

成績

全日本武術太極拳
選手権大会出場

継続して活動してきたことが、全国大会出場につながりました。出場を励みに活動が続けていきたいです。楽しむことを忘れず、健康第一で頑張ります。



柔道

野村桃花さん（末広）

成績

全国高等学校総合体育大会
全国高等学校柔道大会
団体戦女子 出場

全国で勝つ厳しさを知りました。負けて悔しかったが、大好きな仲間と団体戦で出場できてうれしかったです。次に向けて、修正してもっと強くなりたいです。



少林寺拳法

安田光志唯さん（東本郷）

成績

全国高等学校少林寺拳法大会
出場

全国のレベルの高さや、さまざまなかたとの交流の大切さを学びました。全国の舞台に立てた喜びと感謝を忘れず、この経験をこれからの活動に生かしたいです。

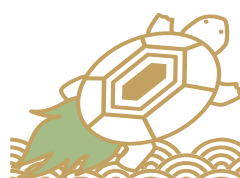


百歳 バンザイ

100歳の誕生日を迎えたかたを紹介します。今月は大正15年7月生まれのかたです。



塩見金喜代さん（小赤松）



あなたの「いらないもの」が誰かの「欲しいもの」になります

不用品のリユース促進に関する協定を締結

monthly information



不用品のリユース促進によるごみの減量化を目的に、町は㈱ジモティーとリユース活動の推進に向けた連携協定を締結しました。リユースは、限りある資源を大切に使い、廃棄物を減らすことで環境への負担を抑えるための取り組みのひとつです。

「ジモティー」とは

「ジモティー」は月間で1,000万人以上が利用する地域の情報サイトです。「売ります・あげます情報」「求人情報」「不動産情報」「助け合い情報」などのカテゴリ別になった情報が、都道府県別や市区町村別に掲載されています。

登録料や手数料が一切かからず無料で利用できるため、地域の情報インフラとして全国各地に広がっています。

●利用方法

まだ使用できるのに、不用となった家具類やベビーカー、家電製品などを、ジモティーに登録します。それを見た人から連絡が来たら、直接引き渡します。登録料や手数料が一切かからず無料で利用できるため、ごみとして捨てる前にジモティーを活用して不用品の引き取り手を探してみましょう。



問 佐用クリーンセンター ☎ 82-0293



9月のスマホ教室



●日 時 9月14日⑧
午後1時30分～3時

●場 所 役場本庁本館1階 101会議室

●受講料 無料

●対 象 町民のかた（どなたも参加可能）

●定 員 20人（先着）

●申込方法

9月11日⑨午後5時までに
情報政策課へ電話してください

問 情報政策課 ☎ 82-0690



各学校で取り組んだ 「コミュニティ・スクール」

上津 中学校

～トキメキ講座 ひまわりボランティア～



今年度も生徒たちがひまわり祭りにひまわりボランティアとして参加しました。来場した多くの人々に、生徒が育てた「世界のひまわり」の特徴やすばらしさを紹介したり、「ひまわり迷路」を案内したりして、会話を楽しみました。

佐用 中学校

～中学生と地域住民の交流会～



今年度も佐用中学校生徒会と学校運営協議会の意見交流会を開催しました。生徒の「こんなことを知りたい」「やってみてみたい」の中から協議会で取り組めることについて話し合い、姫新線の歴史を学習テーマにできないか検討しました。

佐用 小学校

～地域のかたといっしょに 町たんけん～



2年生が保護者や地域のかたに見守られて、町たんけんを行いました。小雨の降る中でしたが、商店街をグループごとに回り、お店のかたの話を聞いたり、工夫を尋ねたりして、たくさん町の魅力を発見しました。

南光 小学校

～自分でできるよ 手縫いにチャレンジ～



5年生の家庭科で、手縫いの基礎となる玉結び、玉止めなどを地域ボランティアから学びました。子どもたちにとっては難しい作業でしたが、丁寧にサポートしてもらい、コツをつかむことができました。

教育 せよう

第 62 号

教育課 82-2424



約 60 人が参加した「コミュニティ・スクール研修会」の様子

地域と協力して子どもたちの学 びを支える「コミュニティ・スクール」

各学校で取り組んでいる「コミュニティ・スクール」。地域と学校が協力しながら子どもたちの学びを支えることで活動の幅が広がり、貴重な交流や体験をすることができています。

令和7年度から始まった「コミュニティ・スクール」。より多くの人に知ってもらい、活動を充実させるために合同研修会を毎年開催しています。今年度は7月27日、南光文化センターで「コミュニティ・スクール研修会」を開催しました。集まった地域住民と学校関係者、約60人がコミュニティ・スクールについて学びました。

子どもの成長を支える土台づくり

県地域連携アドバイザーの北本章さんを講師に招き、明石市での事例を紹介していただきました。

北本さんは、「未来を担う子どもたちの健やかな成長のため、地域全体で当事者意識をもって子どもたちを育てていくことが大切。地域と学校が対話を重ねることで、関わりが生まれ、子どもたちの成長を支える土台になる」と語りました。

対話で広がる地域のつながり

参加者がグループに分かれ、「コミュニティ・スクールを推進するために、今自分ができること、やってみようこと」をテーマに意見を交わしました。最初は遠慮している様子もありましたが、次第に距離が縮まり、どのグループも活発に話し合っていました。

参加者からは、「子どもたちと話し合える場があればぜひ参加したい」「以前、子どもたちの学習補助に参加してとても楽しかった。友人にも声をかけて活動を広めたい」「もっと地域のことを知って、地域のかたと気軽に話ができる関係を作りたい」など、さまざまな感想が寄せられました。今後も、より多くの人にコミュニティ・スクールに参加してもらい、一緒に子どもたちの成長を支えられるよう、地域と学校とが協力の環を広げていきます。

秋の交通安全運動（9月21日～9月30日）

●運動の重点項目

- 歩行者** 歩行者の安全確保
- 自動車** 夕暮れ時早めのライト点灯と
飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶
- 自転車** 自転車・特定小型原動機付自転車の
交通ルールの理解・遵守の徹底

水		木		金		土
		10 こころのケア相談 アルコール相談 13:00 龍 ☎ 82-0661		11		12
13 マイナンバー 開庁日 9:00 役 ☎ 82-0660 当 尾崎病院 Tel. 77-0221	14 専門的栄養相談 10:00 龍 ☎ 0791-63-5687 0歳児教室 9:50 子 ☎ 82-0661	15 エイズ・肝炎相談 HIV・肝炎 ウイルス検査 13:15 龍 ☎ 0791-63-5687	16	17 デイ・ケア 13:30 保 ☎ 82-0661	18	19 秋の読書会 10:30 文 ☎ 82-0874
20	21 敬老の日	22 国民の日	23 秋分の日 ヴィクトリーナ姫路 バレーボール教室 13:30 上 ☎ 82-3336 当 佐用中央病院 Tel. 82-2154	24 がんサロン・さよう がんピアサポート 14:00 保 ☎ 82-0661	25	26
27 当 佐用中央病院 Tel. 82-2154	28 当 佐用共立病院 Tel. 82-2321	29 佐用中央病院 Tel. 82-2154	30 認知症家族の会ひまわり 13:30 保 ☎ 82-2079	1 デイ・ケア 13:30 保 ☎ 82-0661	2 こころのケア相談 13:00 龍 ☎ 0791-63-5687	3
4 当 織田医院 Tel. 79-2206	5	6 エイズ・肝炎相談 HIV・肝炎 ウイルス検査 13:15 龍 ☎ 0791-63-5687	7	9月24日～30日は 結核・呼吸器感染症予防週間です 結核は、昔の病気と思われがちですが、今でも国内外で発生している重大な感染症です。咳が2週間以上続く、体のだるさが続く、微熱があるなどの症状がある場合は、早めにかかりつけ医に相談しましょう。結核の早期発見・早期治療にご協力をお願いします。		

- 当 休日当番医 役 役場本庁 龍 龍野健康福祉事務所 子 子育て支援センター
 保 町保健センター 文 さよう文化情報センター 図 町立図書館
 上 上月体育館



住み慣れた「我が家」で健康に生活するために

骨を守るための「住まいの点検」が重要です

転倒事故の約半数は自宅で発生しています。高齢者は骨の強度が低下しているため転倒が原因で骨折する可能性が高く、骨折により長期の入院や要介護に繋がることもあります。生活の質の維持のために、「住まいの点検」で転倒を防ぎましょう。

自宅の転倒予防チェックポイント

■段差・床面の安全性

項目	対策ポイント
段差の解消	わずかな段差にスロープや段差解消材を設置
床材の改善	滑りにくい床材を選び、マットなどに滑り止めを使用
物の散乱	廊下や床に物を置かない
照明	夜間でも足元を確認できるように、暗い場所に照明を設置

■手すり・支持物の配置

- ・階段（両側が理想的）
- ・浴室、トイレ（便座の横、浴槽の出入口）
- ・廊下、玄関
- ・ベッド周辺

※手すりは、床から75～80cm程度の高さ（杖の高さを参考に）を目安に、しっかり握れる太さ（直径3～4cm）で安定性が高い素材を選びましょう。



住環境点検チェックリスト

- | | |
|---|--|
| ☐ 玄関・廊下に段差がないか、あれば解消されているか | ☐ 床に物が散乱していないか |
| ☐ 廊下・階段に十分な照明があるか | ☐ 夜間、暗い場所への移動経路は安全か |
| ☐ 階段に手すりがあるか（両側が理想的） | ☐ ベッドの高さは適切か |
| ☐ 浴室・トイレに手すりが設置されているか | ☐ 階段の踏み板の先端に滑り止めテープが貼られているか |
| ☐ 浴室の床に滑り止めマットがあるか | ☐ 照明スイッチは使いやすい位置にあるか |
| ☐ トイレの便座の横に手すりがあるか | |

※要支援、要介護認定者は介護保険による住宅改修費の支給（上限20万円）を受けることができます。

転倒は予防できます。骨を守ることは、自分らしい生活を守ること。自立した日常を続けるため、今からの住環境整備が、これからの人生を大きく変えます。



問 高年介護課 ☎ 82-2079



スポーツ

播磨科学公園都市圏域定住自立圏事業

ヴィクトリーナ姫路 バレーボール教室を開催

姫路に本拠地をおき、国内トップリーグ「SV リーグ」で活躍中の「ヴィクトリーナ姫路」によるバレーボール教室を開催します。当日は現役選手3名と元日本代表選手の竹下佳江さん、井上愛里沙さんをお迎えし、本格的な指導を実施します。

●日 時 9月23日(水) 午後1時30分～4時
※受付は午後1時～

●場 所 上月体育館

●参加費 無料

●申込み 申込みフォームから
●申込締切 9月11日(金)
●定 員 150人
(定住自立圏域優先枠含む)
※申込数が定員を超える場合は抽選となります。

●内 容 ・ウォーミングアップ
・基本技術指導
・記念写真撮影など



◀申込みはこちらから

学びの泉

人権、スポーツの結果(町スポーツ協会把握分)、生涯学習課イベント開催などの情報をお届けします ☎82-3336

芸術

芸術で彩る佐用の秋

第45回佐用郡美術展

展示

●日 時 11月12日(土)～15日(日)
午前9時～午後5時
(最終日は午後3時まで)
●場 所 さよう文化情報センター

作品募集

●応募部門 日本画・洋画・書・写真・工芸
●応募資格 15歳以上(中学生不可)
●作品受付 11月7日(土)
午前11時～午後3時
●場 所 さよう文化情報センター
●出品料 無料
●応募制限 1部門につき、2点まで
(写真の部は1点のみ)



◀出品規定など詳しくはこちらから

図書館

読書で交流しましょう

読書会参加者募集

「秋の読書会」を開催します。読書会は、対象の本を事前に読み、感想や意見を自由に話す会です。

●日 時 9月19日(土)
午前10時30分～正午
●場 所 さよう文化情報センター 会議室

●募集人数 10人
●対象図書 砂原浩太郎 / 著
「高瀬庄左衛門御留書」
●参加費 無料(要申込)
●申 込 9月16日(金)までに
図書館へお問合せください

☎図書館 ☎82-0874

新着本情報

● 語り残す戦争の記憶 - 戦後80年から考える	共同通信「語り残す」取材班 / 編	岩波書店
● 日本人の心のありかたと未来	河合隼雄 / 著	さくら舎
● 面白すぎる都道府県検定クイズ&パズル&絵文字・ 絵つなぎ・クロスワードで笑って脳トレ	脳トレーニング研究会 / 編	黎明書房
● 植物とともに生きる里山文庫の暮らし実験室	前田知里 / 著	KADOKAWA
● 模様替えアイデア帖 - 家がもっと好きになる	トム子 / 著	エクスナレッジ
● 100日後に英語がものになる1日10分ネイティブ英語書き写し	ブレット・リンゼイ / 著	サンマーク出版
● 飛燕	あさの あつこ / 著	朝日新聞出版
● 隣の畑は青々と	河崎秋子 / 著	U-NEXT
● シャドーゲーム	真山 仁 / 著	文藝春秋
● 徳川か、豊臣か。	吉川永青 / 著	中央公論新社

Library info

☎82-0874

開館時間 午前10時～午後6時
月曜日・祝日休館

図書館からのお知らせ

9月、10月の休館日

●9月 7.14.21.22.23.28.30
●10月 5.12～23.26

特別館内整理のため休館します

●期 間
10月12日(土)～10月23日(日)

特別貸出を行います

●期 間 9月29日(土)～10月11日(日)
●貸出冊数 上限なし
●貸出期間 3週間

※休館中の図書の返却は、さよう文化情報センター玄関右横の返却ポストをご利用ください。ただし、CD・DVD、他の図書館からの借用本は破損を防ぐため、開館後に直接カウンターにご返却ください。
※上月支所、南光支所、三日月支所の各図書コーナーは通常どおり利用できます。

おはなし会

■ボランティア「あそばせ隊」

●対象 幼児・小学生
●日時 毎週土曜日
午後2時～2時30分

■図書館司書

えほんの会

●対象 2～4歳、その保護者
●日時 毎週日曜日
午前10時30分～11時
●内容 「ねてるのだあれ」など

おはなし会

●対象 5歳～
●日時 毎週日曜日
午前11時～11時30分
●内容 「腰折れすずめ」など



募集

invite information

年末年始の里親募集
子どもたちに温かな時間を

年末年始の期間中に姫路市、たつの市、赤穂市、上郡町の児童養護施設の子どもたちを家族の一員として温かく迎え入れてくださるホストファミリーを募集します。

ホストファミリーに関心のある方、初めての方も大歓迎です。

- 期間
12月25日㊟～1月6日㊟のうち受入可能な期間
(事前研修：12月13日㊟)

- 迎え入れる子ども
児童養護施設で生活する3歳

～小学6年生までの児童

- 申込み期限
11月6日㊟
- ☎健康福祉課 ☎82-0661

光都チューリップ園

植付ボランティア団体の募集

播磨科学公園都市にある光都チューリップ園では、令和9年4月のチューリップフェアに向けて、球根の植付などにご協力いただけるボランティア団体を募集しています。

- 募集団体
光都を中心とした近隣市町で所在または活動する自治会、ボランティアグループ、企業など
※個人での申し込みはできません

- 応募締切
9月30日㊟

- 活動内容
11月中旬：球根の植付
令和9年5月中旬：球根堀上げ

- 申込方法
組合ホームページに掲載している申込書に記載し、メールなどで提出してください



◀詳しくはこちらから

- ☎播磨高原広域事務組合
☎0791-58-0575

ひめじ播磨マッチボックス

登録事業者募集

姫路市は、1日や数時間単位で人材を募集できる「ひめじ播磨マッチボックス」のサービスを10月から開始します。

サービス開始に先立ち、登録を希望する事業者を募集しています。

詳しくは、以下の二次元コードから確認するか、姫路市の窓口へお問合せください。



◀詳しくはこちらから

- ☎株式会社 Matchbox Technologies
(姫路市労働政策課連携事業)
☎050-1780-3754

お知らせ

information

さよう暮らし応援券

利用は9月30日まで

全町民に配布した「さよう暮らし応援券」の利用期限は、9月30日㊟までです。期限を過ぎると利用できませんので、お早めにご利用ください。

- ☎商工観光課 ☎82-0670

生活保護費の追加給付

平成25年に国が行った生活扶助基準改定に関する最高裁判決を踏まえ、県は対象となる人に対して保護費の追加給付を進めています。

下記の対象世帯に、申出により追加給付を行います。

- 対象世帯
平成25年8月～令和8年3月までに県内の健康福祉事務所で生活保護を受給し、現在までに保護廃止となった世帯
- 申出受付期間

令和9年7月31日まで
申出書を郵送により受付

- 郵送先
〒650-8567
兵庫県地域福祉課追加給付事務局
(住所不要)

- ☎県地域福祉課追加給付事務局
☎078-362-9070

eTAXのサービスが停止します

システムメンテナンスにより電子申告やeL-QR・eL番号を利用したキャッシュレス納付(地方税お支払いサイト・スマホ決済アプリでの納付)ができません。

- 停止期間
9月19日㊤午前12時～24日㊤午前8時30分

- ☎税務課 ☎82-0662

マイナンバーカード受付

今月の日曜開庁日

- 日時
9月13日㊤
午前9時～午後3時

- 場所
住民課

- ☎住民課 ☎82-0660

弁護士による無料法律相談

- 開催日
10月14日㊤
午後1時～4時
※相談時間は1組30分

編集後記

「夏のさよう子ども体験くらぶ 給食センター体験会」では給食が学校に届くまでの作業を体験しました。体験後にはカレーライスが振舞われ、私もおいしくいただきました。表彰も受け、高く評価された佐用の給食を家庭でも楽しめる「学校給食レシピ本」が公開されています。ぜひ味わってみてください。㊟

- ※相談時間は1組30分
- 場所
役場第一庁舎本館
- 申込方法
電話で事前予約
- 募集人数
6組(先着順)
- 主催
近畿弁護士会連合会
- ☎総務課 ☎82-2549

受賞

award information

叙勲 瑞宝双光章



平田 秀三さん(上町)
※受章後の令和8年8月5日にご逝去されました

上月小学校、佐用小学校の校長や、教育長を歴任し、長年にわたり学校教育に尽力した功績がたたえられました。

個人情報のため非公開

名前

年齢

行政区

お誕生おめでとう

7月11日から8月10日届出分(敬称略)
戸籍上の漢字が表記できない場合があります

戸籍の窓口

ii人のうごき

8月10日現在()内は前月比

人口	14,056人	(-56)
男	6,802人	(-29)
女	7,254人	(-27)
世帯数	6,655戸	(-27)

出生	2人	死亡	27人
転入	14人	転出	47人

名前

年齢

行政区

お悔やみ申し上げます

個人情報のため非公開



広報さよう

2026年9月号

発行 ● 佐用町
編集 ● 佐用町広報委員会

佐用町役場 情報政策課広報室
兵庫県佐用郡佐用町佐用2611番地1

☎079-082-0690

「広報さよう」は、環境にやさしいベジタブルインキ（植物油）と再生紙を使用しています。今月号の印刷費は、1部約42円です。



ありがとう！
そしてこれからも

2026

10.10土

10:00~14:00

@佐用町役場駐車場

(雨天:さよう文化情報センター)

姫新線 90 周年記念イベント開催

姫新線は、令和8年10月に姫路～新見間が全線開通してから90年の節目を迎えます。

これまで地域の暮らしや人々の移動を支えてきた姫新線の90周年を記念し、記念イベントと式典を開催します。

当日プログラム

10:00 こどもワークショップ
「みんなで乗れる電車をつくろう！」



◀こどもワークショップ
の申込みはこちらから

13:15 タニケンさん
コンサート



姫新線が登場する
新曲も発表します！

12:15 姫新線乗車体験
13:00 90周年記念式典
13:35 佐用高校 JRC 部制作動画披露 など

姫新線 90 周年関連イベント

📖 姫新線関連の本コーナーを設置

場所 図書館

期間 10月11日㊤まで

📷 姫新線 90 周年記念展示

場所 図書館ギャラリー

期間 10月5日㊤～18日㊤

☎企画防災課 ☎82-0670